

アゼオトギリ News

～咲かせようアゼオトギリ 広げよう笑顔の花～

アゼオトギリとは？
裏面へどうぞ

1 みんなで守り、育てる 第12回アゼオトギリ保全勉強会の開催

令和4年6月18日（土）に第12回アゼオトギリ保全勉強会を開催しました！

今年度もオンライン会議を併用して会場とアゼオトギリの保全活動に取り組む多くの方々を結び、地域の方が生育・栽培している状況の報告をはじめ、地域の保全活動に取り組む高校生から発芽状況や栽培に関する検証結果などの報告いただきました。三重河川国道事務所からも自生地と移植地の栽培状況や昨年度からの変化(現地の状況及び個体数)について報告しました。



勉強会アドバイザーの吉岡教授から保全活動への助言及び意見



会場にて活動報告

平山教授(三重大学)、吉岡教授(新潟食料農業大学)、中濱講師(兵庫県立大学)等の有識者からモニタリングにおける観点などのご助言や実際に育てているアゼオトギリをオンラインを通じてご紹介いただき、今後の保全活動にあたって有意義な勉強会となりました。

また、勉強会後には移植地である佐奈川桜づつみ公園での草刈りを予定していましたが、あいにくの天気で中止となりました。今後も、本勉強会と合わせて現地での保全活動を一緒に取り組んでいきましょう。

**8月には花の観察会を開催予定です！
奮ってご参加ください！！**



2 勉強会の活動報告を一部ご紹介！

飯南高校さんとミエテックさんの内容を紹介します。

三重県と福井県産のアゼオトギリの種子を冷蔵保存し、発芽と生育について調べました。福井県産は元気よく発芽し、大きく生長しましたが、三重県産は発芽や生長も悪かったとのこと。同じ種でも産地によって違いがあるようです。

飯南高校

結果
福井県産、三重県産ともに200粒を使用したけど、三重県産は、福井県産に比べ発芽本数は明らかに少なかった

発芽している
発芽している
発芽している

三重県産H28年11月よりR3年6月まで冷蔵保存

結果 福井県産H27年12月よりR3年6月まで冷蔵保存
福井県産苗は、かなりの大きさに生長し(30cm~40cm)、その後地上部の「枯れ」とともに、種子も確認出来た。

(R3年8月23日撮影) (R3年9月26日撮影) (R3年12月23日撮影)

ポイント
・福井県産苗は、その後、地上部の枯れた根元から「越冬枝」がほぼ発現した。(ただし、その後の管理が悪く、全部翌年の5月までに1枯死した。)
○「越冬枝」・・・地上部が枯れているが、条件が整うと、地際から萌芽してくる枝のことをさします。(※正式名称が分からないので、定義してみました)

竹チップで弱ったアゼオトギリを復活させる取り組みの報告がありました。竹チップは、防草、保湿、保温のほか、発酵が進むと、栄養にもなるとのこと。今後のアゼオトギリの復活に乞うご期待！

ミエテック

2022年アゼオトギリ観察記録

2022年6月現在のアゼオトギリ生育状況についてご報告を致します。
昨年以降、引き継ぎ、人の手を掛けずに、野外環境下で、生育状況を観察しました。
結果、2021年には、11個体確認されたアゼオトギリが、2022年6月現在で、4個体まで減少しました。(既存株2個体・新芽2個体)
高存株が3年目と古くなって枯れたと、気候実験を除けば、生育環境には変更が無く、また、新規個体の定着が悪いことから、土壌の地力が弱り、アゼオトギリの生育環境に悪化が懸念されてきたと推測しました。

2022年アゼオトギリ観察記録

アゼオトギリ復活作戦
跡地のアゼオトギリを復活させるべく、現在、土壌の改良に取り組んでいます。
工場地帯にある果樹園が、竹林により侵食される竹藪対策として、竹林の整備を行っており、その一環として、伐採した竹をチップ化して、防草材の代わりとして、圃場の緑地に再利用しています。
この竹チップを土壌改良に利用しようと考えました。
まず、防草、保湿、保温目的に、竹チップを使用しました。
次に、竹チップを自然発酵させ、土に混ぜ込み、土壌の改良を試みます。(現在、密閉し自然発酵中)

3 春のモニタリング調査と草刈り

アゼオトギリ自生地や事務局が管理している移植地で、春のモニタリング調査を6月に行いました。越冬株や新たに発芽した株の有無の調査しました。

自生地、移植地ともに、昨年より個体数が減少していましたが、新しく発芽した個体も確認できました！

夏のモニタリング調査は、7月末頃に実施予定です。



新しく芽が確認されたアゼオトギリ

また、移植地/桜づつみ公園での草刈り体験は雨天により、後日事務局が手刈りの除草を実施しました。

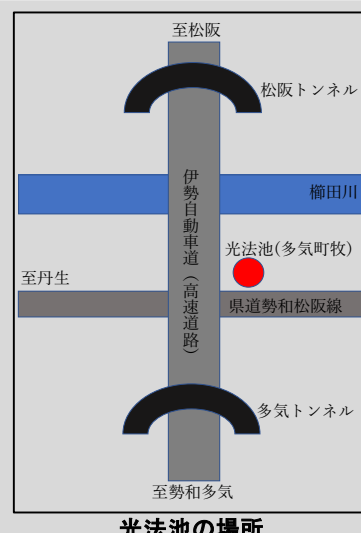
程よい日陰はアゼオトギリにとって重要なため、手刈りの除草が必要です。

もし、雑草の繁茂時には、除草にご協力ください。除草後は、写真を撮影し、事務局にも教えて下さい。



5 ちょっとひとネタ～多気町役場～ 蓮の花が咲きました

下の写真は、多気町の牧地内にある光法池の写真です。池は薄いピンクの蓮の花びらで埋め尽くされ、とてもきれいな風景を見ることができます。蓮の花の見ごろは、7月～8月で、特に午前7時～午前9時ごろに綺麗に咲くとされ、観賞するのは午前中がおすすめです。



光法池の場所

アゼオトギリとは？

田んぼの畦や日当たりが良く湿った場所に生える多年草でオトギリソウ科の一種です。三重県内ではH25年に48年ぶりに発見されました。

取扱いには届出が必要です

H29年3月31日三重県指定希少野生動植物種にアゼオトギリが指定されました。採取、移植などの取扱いには三重県に届出が必要です。
※許可なく採取等行うことは条例違反となります。



アゼオトギリニュースHP

《お気軽にお問合せ下さい》

自粛生活が続いていますが、川沿いや田んぼの畦を散歩してみてください。アゼオトギリが見つかるかも！？

ちょっと話聞きたいなどなど、お気軽にお問合せ下さい。

問合せ先 ●三重河川国道事務所 調査課 ●多気町 町民環境課 TEL0598(38)1113
TEL059(229)2216 建設課 TEL0598(38)1116